

富谷高等学校

校訓 進取 明知 自律 協同



1 基本データ

創立：平成6年
 課程・学科：全日制課程・普通科
 生徒数：830名
 所在地：〒981-3341
 富谷市成田二丁目1-1
 TEL：022-351-5111
 FAX：022-351-5112

ホームページアドレス：
<http://www.tomiya-h.myswan.ne.jp>
 電子メールアドレス：
info@tomiya-h.myswan.ne.jp
 主な交通機関
 地下鉄泉中央駅から宮城交通バスで約20分、「富谷高校前」下車

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

「コース」から「類型」へ

開校以来の富谷高校の特徴だった「普通科3コース制」から、新たな時代に飛躍する人材育成を目指し、普通科一括募集、2年生からの「3類型（人文・国際・理数）選択制」へと生まれ変わります。ますます地域と連携し世界とつながる富谷高校にご期待下さい。

(1) 学校の概要(沿革, 環境, 施設等)

本校は泉ヶ岳等を遠望できる仙台北部の丘陵地に、平成6年4月の開校以来、普通科3コース制の高校として各方面で活躍する多くの人材を育ててきました。さらに平成26年にユネスコスクールに加盟承認され、ESD（持続可能な社会の実現のための教育）を推進し、社会や時代の変化に対応できる人材育成に取り組んできました。

そして来年度（平成31年度）からは、ユネスコスクールとしての理念（SDGs）を導入し、1年生では基礎教育を充実させ、さらに2年生以降は多様な進路選択に対応するための3類型（人文・国際・理数）が選択可能な教育課程に変更します。

校舎は県内の公立高校では珍しい円形の講義棟を始め、2つの普通教室棟と特別教室棟・管理棟・体育館で構成されています。校舎内外には美しいステンドグラスやモニュメントがちりばめられている中、学校のシンボルとなっているカリヨン（時計台）が美しい調べを奏でています。

(2) 設置学科等 (過去3年間の学科コース別・前後期選抜別の出願者数・合格者数)

<前期選抜>

		H30	H29	H28
普通科	出願者数	133	129	112
	合格者数	110	109	107
人文コース	出願者数	67	62	52
	合格者数	48	48	48
国際コース	出願者数	35	30	33
	合格者数	32	29	32
理数コース	出願者数	31	37	27
	合格者数	30	32	27

<後期選抜>

		H30	H29	H28
普通科	出願者数	240	260	263
	合格者数	170	171	173
人文コース	出願者数	98	129	118
	合格者数	72	72	72
国際コース	出願者数	73	50	56
	合格者数	48	51	48
理数コース	出願者数	69	81	89
	合格者数	50	48	53

(※第2志望による合格者を含む)

※平成31年度入試から普通科一括の募集になり、第2志望はなくなります。

(3) 教育方針

【1 個性の尊重】

一人ひとりの能力・適性に合った教育を行い、個性を生かし創造力を伸ばして自ら進んで事に処する気力あふれる人材を育成する。

【2 知性の練磨】

自ら学ぶ意欲と態度を育み、高い学識と豊かな教養を身に付けて国際化、高度情報化社会に適切に対応する人材を育成する。

【3 情操の陶冶】

相互に信頼し敬愛する精神を養い、自分を律する心を培って真理と正義を愛する心身ともに健全な人材を育成する。

(4) 教育課程の特色

【特色】

全体として大学進学を希望する生徒が多く、国公立大学や難関私立大学への進学に対応した学習内容になっています。1年生では全生徒が基礎・基本を養いつつ、学問や進路について知識を深め、しっかり将来を考えて、2年生からの類型を選択します。それぞれの類型では、自分の進路や興味関心に合わせ、確かな学力を身につけること、ユネスコスクールの理念に基づく様々な問題についての知見を深められるように、学校設定科目を配置しています。

【人文類型】

国語・社会など文系科目全般に重点が置かれた類型です。また平和や人権など、世界の協調につながる問題を考える類型です。

【国際類型】

人文類型と同様に文系科目が中心ですが、異文化理解や国際理解に重点が置かれた、最もユネスコスクールらしい類型です。

【理数類型】

数学・理科など理系科目全般に重点が置かれた類型です。また環境や技術など、将来に渡り持続可能な開発を考える類型です。

(5) 行事・生徒会活動・部活動

生徒会執行部を中心に、自主的に企画・運営され、全生徒が盛り上がり得る行事になるよう取り組んでいます。

主な行事は4月体育大会、7月球技大会、9月樹咲祭（文化祭）、10月芸術鑑賞会、国際理解講演会、11月キャンパスツアー、その他6、7月のESD講演会、12月の修学旅行があります。3月には「T-time（課題研究）」の大きな発表の場となっている収穫祭（課題研究発表会）があります。

部活動は全員登録制となっており、13の運動部、12の文化部、4つの同好会がそれぞれ活発に活動しています。

【H29年度の主な活動成績】

陸上競技部

男子4×400mR（東北大会出場）

男子400mハードル（東北大会出場）

女子混成七種競技（東北大会出場）

硬式野球部

春季宮城県大会ベスト8

(6) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	H29	H28	H27
国公立大学	18	20	23
国公立短大	0	0	1
私立大学	177	173	166
私立短大	9	9	18
専各学校	45	45	46
就職	5	8	5
その他	14	15	14
卒業生計	268	270	273

主な進路先（平成30年3月卒業生）

()内は人数 (1)は省略

<国公立大学>

宮城教育大、岩手大、山形大(5)、宮城大(7)、徳島大、岩手県立大、会津大、都留文科大

<私立大学>

東北学院大(57)、東北福祉大(31)、宮城学院女子大(29)、仙台大(6)、仙台白百合女子大(2)、尚絅学院大(3)、東北工業大(11)、東北芸術工科大(5)、東北医科薬科大 他

<短期大学>

聖和学園短大(5)、仙台青葉学院短期大(3)

<専門学校・各種学校>

仙台医療センター附属看護助産(4)、東北防災看護(2)、葵会仙台看護(2)、仙台徳洲看護、石巻赤十字看護 他

<就職>

神奈川県警察官、自衛隊、大和町役場、仙台市学校事務、産電工業

3 入試情報

(1) 募集定員

普通科 男女 280名

(2) 前期選抜について

イ 学科別の募集割合等

普通科 定員の30%以内(84名以内)

ロ 出願できる条件

本校では、進取の精神に富み、積極的に社会の発展と文化の創造に貢献する、個性豊かな生徒を求めます。自己の特性や将来の夢に合わせて、本校の人文類型・国際類型・理数類型で深く学び、さらに大学等に進学して専門性を高め、将来はグローバルな人物へと成長し、国際的な視野を持って社会に貢献したいと考える者で、次の1または2のいずれかの条件を満たしている生徒

- 1 中学校1～3年生の全教科の評定平均値が4.0以上の生徒【調査書】
 - 2 中学校1～3年生の全教科の評定平均値が3.8以上【調査書】で、次の(1)～(7)のいずれかの条件を満たしている生徒
 - (1) 生徒会活動において学校の中心となって活動したことを自己アピールできる生徒
 - (2) 学校全体に関わる行事において中心的な活動をしたことを自己アピールできる生徒
 - (3) 運動部において、中総体又は新人大会で、県大会以上の大会に出場し【調査書】、活躍した生徒
 - (4) 文化部または校内の文化活動で、県大会レベル以上のコンクールに出場または出展し【調査書】、活躍した生徒
 - (5) ボランティア活動で、1年以上継続して地域のボランティアサークルに所属し【添付書類又は調査書】、積極的に活動に取り組んだ生徒
 - (6) 学校以外の活動で、東北大会レベル以上の大会等に出場し【添付書類又は調査書】、活躍した生徒
 - (7) 英検において準2級以上の資格を取得した生徒【添付書類又は調査書】
- ◆1, 2の評定平均値、および2の(3)～(7)については「資格確認の対象とする条件」である

ハ 学力検査

国語、数学、英語 各100点

ニ 学校独自検査

小論文 資料読取型(配点75点) 50分

中学校までの社会・理科の学習内容を踏まえ、表や図版などの資料をもとに、学力検査や調査書だけでははかれない能力、適性及び意欲等について検査します。

(3) 後期選抜について

イ 募集人数

普通科 196名(予定)

ロ 面接・実技の有無 なし

ハ 傾斜配点の有無 なし

ニ 調査書点と学力検査点の比重 4:6

ホ 学科の第2志望 該当なし

(4) 平成30年度転編入学試験について (7月以降分)

日程	対象学年	試験科目等
平成30年 7月23日	全学年	国語・数学・英語・面接
平成30年 9月18日	全学年	国語・数学・英語・面接
平成30年 12月19日	全学年	国語・数学・英語・面接
平成31年 3月20日	新2・3学年	国語・数学・英語・面接

※現1年生までは、転入学はコース別(人文・国際・理数)の試験となります。

4 写真で見る学校生活



自然環境が豊かな立地で、広大な敷地に立つ校舎



収穫祭(課題研究発表会 3月)



素敵な制服



体育大会(4月)

我が校のPRポイント

富谷高校は、進取の精神に富み、国際的な視野に立って広く社会の発展と文化の創造に貢献する、個性豊かな人間を育成することを目標としています。平成6年の開校以来の目標を今も持ち続け、社会や時代の変化に対応しながら、様々な取り組みに挑戦してきました。

普通科コース制という制度もそうした取り組みのひとつではありましたが、平成26年にユネスコスクールに加盟承認されたことで、学校全体としてユネスコが掲げる理念に沿った教育を目指すことになりました。1年生ではコースの枠を外して、すべての生徒が世界と地域の問題を包括的に捉えられるような教育活動を行い、その上で、2年生以降はそれぞれの進路や、ユネスコスクールが掲げるSDGs(持続可能な開発目標)の17の課題を参考に、3つの類型からひとつを選んで学ぶ類型制に移行します。

今後は、さわやかで明るい校風を伝統として維持しつつ、SDGsの諸課題をもとにした課題研究や探究的な活動の幅を広げ、世界(グローバル)を視野に入れつつ、発展著しい富谷市で唯一の高校として、地域(ローカル)とも連携する「グローカル」な人材の育成に励みます。